

# 土曜 ライフ・楽しむ

## 非常時に発揮される趣味の力



生活情報誌「悠悠と。」  
編集長・真鍋康利さん



しく思ったものです。この記録はいつか、その世界を目指す若者たちが目にするかもかもしれません。

敬愛する友人のA氏は昨年春、定年を迎えました。絶えず緊張を強いられた息も抜けない職場で、重責を担ってきました。長期の休暇もままなりません。そこで、彼は久しぶりにゆつくりした時間を過ごすべく、さまざまな計画を立てました。体の鍛錬を欠かさない人ですから、なまらないうちにひたすら歩き、昔痛めた肩のリハビリのためにジムに通いました。

趣味は囲碁とたき火です。たき火はさすがに街中ではできないので、別の友人の山小屋に行って何時間でも火の担当をしています。火の扱いがとても上手なのです。直近に大きなイベントも控えていました。そう、オリンピックの観戦に応募して希望するチケットが入手できたと喜び、さっそく航空機や宿泊の手配も済ませました。また奥さん主導ですが、かねて念願だった米国旅行も思い立ったそう、行き先にニューヨークを選び、楽しみながら準備を始めていました。

しかし、それらすべてを断念せざるを得ない状況になりました。オリンピックは延期、米国旅行も完全に無理、スポーツジムも囲碁クラブも閉鎖、外出自粛を余儀なくされ、散歩もままなりません。米国旅行について私はとてもうらやましかったので、ちょ

っと悪魔的な心が湧きあがり、ザマアミロとまでは思わないまでも、あまり同情はしなかったのですが……。

しかし、そこががまじめな大物なんです、彼は。外出自粛の期間中、これまでの仕事をまとめようと思いい立ち、誰かが記録しなければならぬいさぎやかな出来事を克明に文字にしようとしています。彼にしか知りえないこともたくさんあったのです。

「本にしないか」と提案しましたが、「そこまでする気はない」とつれない返事です。緊急事態に直面している私に仕事を作ってくればもつといわつたのに、と恨め

きちんとした趣味や特技を持つている人は強いですね。囲碁は「密接」「密閉」がつきものですから、直接の対戦は難しいでしょうが、上級者である彼は、ネットでの対戦を楽しみ、過去の有名な棋譜を並べるとして研究に余念がないそうです。より一層強くなるかもしれない。

それに比べて私は取り立てて誇れる趣味はなく、しいて言えば、カメラと温泉キットを抱えて出かけることぐらい。これも無理なので、事務所に閉じこもり、パソコンの中のデータの整理などに明け暮れるばかりです。